



京都世界水大賞2024 協賛募集要項

2023（令和5）年6月 日本水フォーラム

経緯・趣旨

○途上国の水問題解決に向けて優れた活動を続ける草の根団体を顕彰する 世界で唯一*の国際的な賞 (*日本水フォーラム調べ)

- 2003年に第3回世界水フォーラムを日本に招致。琵琶湖・淀川流域で開催。
- その開催を機に、京都市と世界水会議（WWC; World Water Council）が本賞を創設。
- 第3回世界水フォーラムの開催事務局を母体として、2004年に日本水フォーラム設立。
- 「世界水フォーラム」は、3年に一度開催される、世界最大級の水関連国際会議。
- 2015年の第4回より、日本水フォーラムが共催者としての参画を開始

歴代受賞団体

- 第1回（2006年、第4回世界水フォーラム・メキシコ）
受賞団体：Gram Vikas（インド）
- 第2回（2009年、第5回世界水フォーラム・トルコ）
受賞団体：Watershed Organization Trust（インド）
- 第3回（2012年、第6回世界水フォーラム・フランス）
受賞団体：Katosi Women Development Trust（ウガンダ）
- 第4回（2015年、第7回世界水フォーラム・韓国、参加者4.6万人）
受賞団体：Environment and Public Health Organization（ネパール）
- 第5回（2018年、第8回世界水フォーラム・ブラジル、参加者12万人）
受賞団体：Charité Chrétienne pour Personnes en Détresse（トーゴ）
- 京都世界水大賞2022（通算6回目、2022年、第9回世界水フォーラム・セネガル、参加者数発表なし）
受賞団体：Pragati（インド）

実施概要

- 団体募集期間：2020年9月7日～2021年4月30日。応募件数：23カ国 50件
- 大賞：Pragati（インド、南オリッサ州コラプット地区の草の根団体）
- Pragati活動実績：農村部貧困層の収入向上を目的として、太陽光発電設備を利用した揚水・灌漑システム、水ろ過装置を各世帯に導入。水を原因とする感染症や女性の水汲みの重労働軽減、営農による収入向上を達成。同時に、貧困、保健衛生、女性の地位向上、エネルギー、カーボンニュートラルなどの世界的な課題解決を地域で実現している。また、地域住民が大切にしている自然信仰などの文化伝統に寄り添った、模範的、理想的アプローチである。



ため池の水を太陽光発電で揚水(右)。
太陽エネルギーを利用した灌漑農業により、野菜や穀物の栽培が可能になった

○第9回世界水フォーラムで現地開催された閉会式にて、15分にわたり、授賞式を実施（セネガル、ダカール）



閉会式の壇上での授賞式の様子

左) 賞金ボードの授与

左から日本水フォーラム参与橋本、受賞団体代表 Adhikari氏、Panda氏、WWC副会長Kasumi氏

左下) 京都市長ビデオメッセージ

右下) トップスポンサービデオメッセージ



- 主催：①京都市、②世界水会議（WWC、仏NGO、世界水フォーラム主催者）、③日本水フォーラム
- 事業内容：発展途上国の水問題解決に向けて優れた活動を続ける草の根団体を懸賞する
- 実施目的：発展途上国における草の根活動の質の底上げを図るとともに、草の根活動の重要性を広く世界に発信する。
- 主催者間の主な役割分担：①審査基準、②授賞式会場確保、③団体募集と経費負担
- 賞金：大賞1団体へ200万円（予定）
- 実施スケジュール（予定）：

| 日程 | 実施事項 | 備考 |
|----------|----------|------------------------------------|
| 2023年6月 | 受賞団体公募開始 | プロモーション動画（英語） |
| 2023年9月 | 公募〆切 | 第一次：書類審査（形式）、第二次：書類審査（評価） |
| 2023年12月 | 最終審査 | 選考委員会にて評価 |
| 2024年1月 | 大賞発表 | プレスリリース（日本語版および英語版） |
| 2024年5月 | 授賞式 | インドネシア・バリ 第10回世界水フォーラム閉会式（予定）にて |
| 2024年6月 | 実施報告書 | 日英で作成・公表 |

お申込受付：2023年6月～2024年3月

ご協賛期間：ご協賛開始～2025年3月

| ご協賛特典／ご協賛金額(税込) | 50万円 | 100万円 | 200万円 | 500万円 |
|---|------|-------|-------|-------|
| ① ウェブサイト(日英)へのロゴ・社名掲載 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ② 最終報告書(日英)への社名掲載 (主催者各代表者署名付きの公式報告書、2024年9月末発行予定) | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ③ プレスリリースへの社名掲載 | — | ○ | ○ | ○ |
| ④ 授賞式の賞金ボードへのロゴ掲載。公式写真使用权 | — | ○ | ○ | ○ |
| ⑤ プロモーション動画へのロゴ掲載 (2023年の受賞団体公募開始時に公開予定、2024年6月授賞式会場で上映予定) | — | — | ○ | ○ |
| ⑥ 京都世界水大賞公式ロゴ使用・呼称権 (2023年6月から公式ロゴを設けています。当賞創設以来初めての製作) | — | — | ○ | ○ |
| ⑦ 主催者共同記者会見の共催権 | — | — | — | ○ |
| ⑧ [A]または[B]を選択いただけます。 [A]JWFプレミア会員にご入会(JWFストラテジックパートナー呼称権付、ウェブサイトや年報にロゴ・社名掲載。100万円分はこの年会費として受領) [B]「Charity for Water」ご参加(JWFの国際貢献活動全般をご支援頂くプログラム。ウェブサイト等にロゴ・社名掲載。100万円分はこのご協賛金として受領) | — | — | — | ○ |
| ⑨ トップスポンサー特典:授賞式のプレゼンター、最終審査選考委員 | — | — | — | △ |

* ⑨のトップスポンサー様は、2023年11月10日(金)現在を以て決定いたします。

* ご寄付や、50万円未満の小口ご協賛なども承りますので、詳細は別途お問い合わせください。

* 日本水フォーラム団体正会員の皆様には割引がありますので、別途お問合せください(会員様限定情報)。

①ウェブサイト掲載例(掲載箇所は赤枠内)



<< ページ中略 >>

②実施報告書(右下は前回表紙 PDFはこちら)

③プレスリリース例(PDFはこちら)



④賞金ボード(右。赤丸は授賞式での使用の様子)

⑤ プロモーション動画(前回の動画サムネイル)

本編はYoutubeに公開中 左) [3分版](#)、右) [1分版](#)



Kyoto World Water Grand Prize
2022_PR_3min



Kyoto World Water Grand Prize
2022_PR_1min

⑥ 公式ロゴ:

該当する協賛者様には、商用のご利用が可能です。

(右、当賞の公式ロゴ)



⑦ 主催者共同記者会見実施イメージ



⑧ JWFストラテジックパートナー掲載例(左、年次報告書。掲載箇所は赤丸)

⑨ 授賞式会場(中央、2015年)、授賞式プレゼンター(右、2018年)

